

このたびは、ユニペックス非常業務リモコンをお買い上げいただきまして誠にありがとうございました。

お買い上げの非常業務リモコンを正しく設置いただくためにこの工事説明書(書込編)をよくお読みください。

また、お読みになった後は必ず保存してください。

目次

初期設定および設定変更

- 動作モードの変更・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- ブロックスイッチの設定・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

書込設定のしかた

- 基本操作・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3～4
- 書込設定の初期化および更新・・・・・・・・・・・・ 5
- 書込設定の主要手順・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
- システム設定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7～8
- ブロックスイッチの設定・・・・・・・・・・・・・・ 9～12
- LCD画面の濃淡の設定・・・・・・・・・・・・・・ 12

書込設定の確認のしかた

- ブロックスイッチの動作モードの確認・・・・・・ 13
 - ブロックスイッチの放送先の確認・・・・・・・・・・ 14
 - SP回線の確認・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15
- 総合点検のしかた・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16
- バックアップのしかた・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 17～20
- USBメモリーの接続のしかた・・・・・・・・・・・・・・ 21～22
- パソコンの接続について・・・・・・・・・・・・・・ 22
- サポートのご案内・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 23

初期設定および設定変更

■動作モードの変更

- 動作モード(非常専用、業務専用、非常業務兼用)を変更できます。

初期設定：非常業務

変更内容：非常専用および業務専用に変更可能

- ・非常業務：非常放送時および業務放送時どちらでも操作可能
- ・非常：非常放送時のみ操作可能(業務放送時は操作できません)
- ・業務：業務放送時のみ操作可能(非常放送時は操作できません)

変更方法(8頁「動作モード設定」を参照してください)

■ブロックスイッチの設定

- 本非常業務リモコンERM-3521および増設スイッチユニットRSE-3220の放送階選択スイッチを本体と別の内容のブロックスイッチとして設定して、使用することができます。

- ・放送階選択スイッチのブロックスイッチ化は、5局単位となります。
- ・ブロックスイッチの最大設定局数は、本体及び他の非常業務リモコンを合わせて100局です。

初期設定：本体と同じ

変更内容：ブロックスイッチは設定により、次の3モードの使い方ができます。

- ①非常専用ブロックスイッチ(非常放送時のみ動作)
 - ・非常放送時、一つの階としてまとめた複数の回線を一括してON/OFFするスイッチとして設定できます。
- ②業務専用ブロックスイッチ(業務放送時のみ動作)
 - ・業務放送時、任意の複数の回線を一括してON/OFFするスイッチとして設定できます。
- ③非常業務兼用ブロックスイッチ(非常放送時および業務放送時動作)
 - ・非常放送時、一つの階としてまとめた複数の回線を一括してON/OFFするスイッチとして設定できます。
 - ・業務放送時も動作します。

変更方法

次の手順で設定してください。

- (1)ブロックスイッチの動作モードの設定(9頁)
- (2)ブロックスイッチの放送先の指定(10頁)
- (3)放送階選択スイッチとスピーカー回線の設定変更(11～12頁)

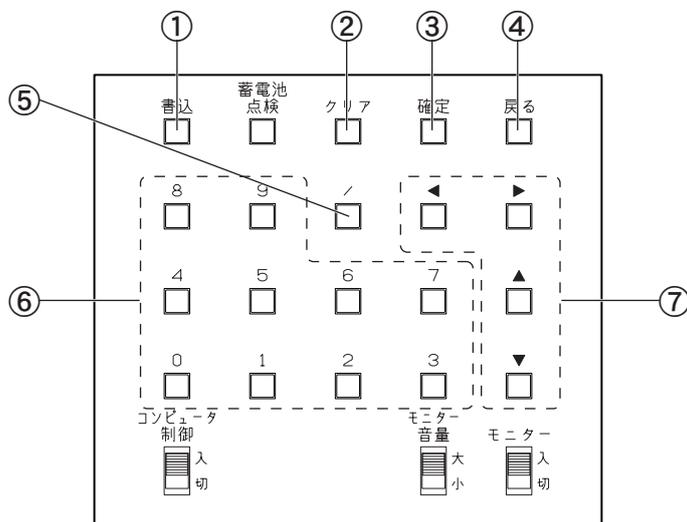
書込設定のしかた

■基本操作

(1)各部の名称と説明

- ・プログラムの設定は、本リモコンのマイク扉内のスイッチおよび放送階選択スイッチ等の操作で行います。
- ・各スイッチの名称と動作機能は次のとおりです。

マイク扉内 (ERM-3521)



① 書込スイッチ

- ・書込をおこなうときに使用します。書込モード時に押しすと通常モードになります。

② クリアキー

- ・書込時、入力途中のデータを消去する場合に使用します。

③ 確定スイッチ

- ・書込時、入力内容を確定する場合に使用します。

④ 戻るスイッチ

- ・書込時、一つ前の設定入力画面に戻るときに使用します。

⑤ /キー

- ・書込時、複数の項目を選択するときに項目ごとの区切りに使用します。

⑥ 10キー

- ・書込時、数字入力が必要な場合に使用します。

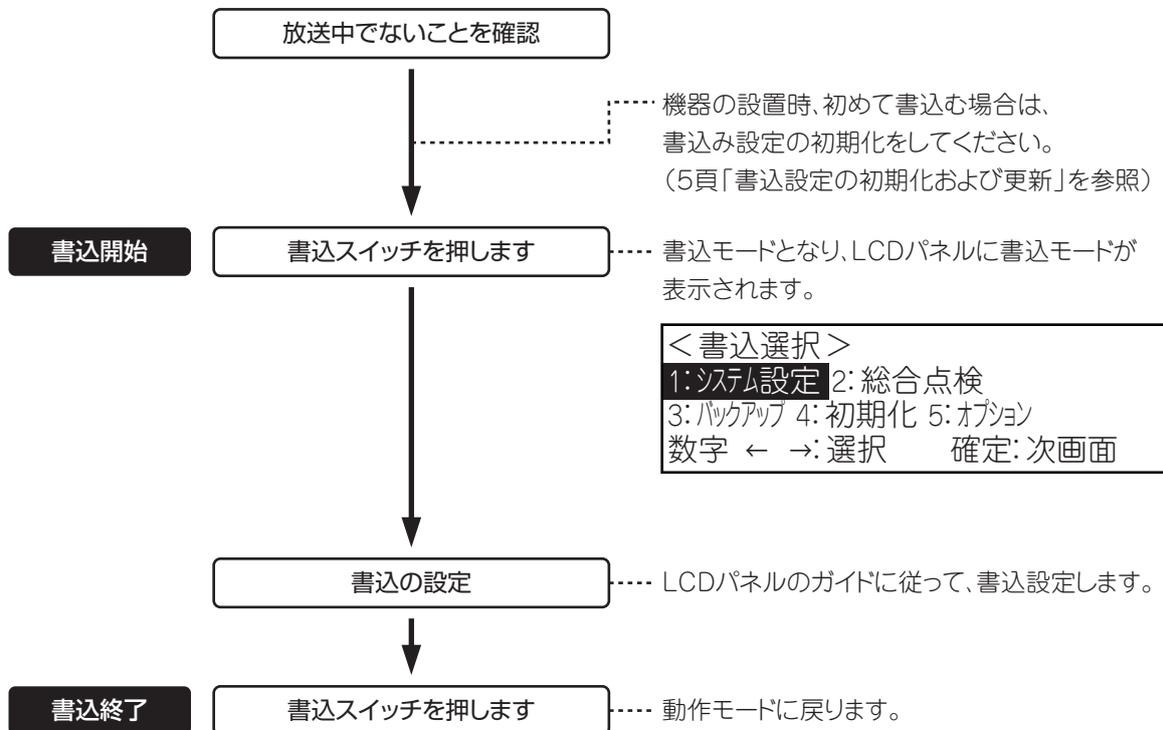
⑦ カーソルキー

- ・書込時や状態確認時、表示項目移動するときに使用します。

書込設定のしかた

(2) 書込設定への手順

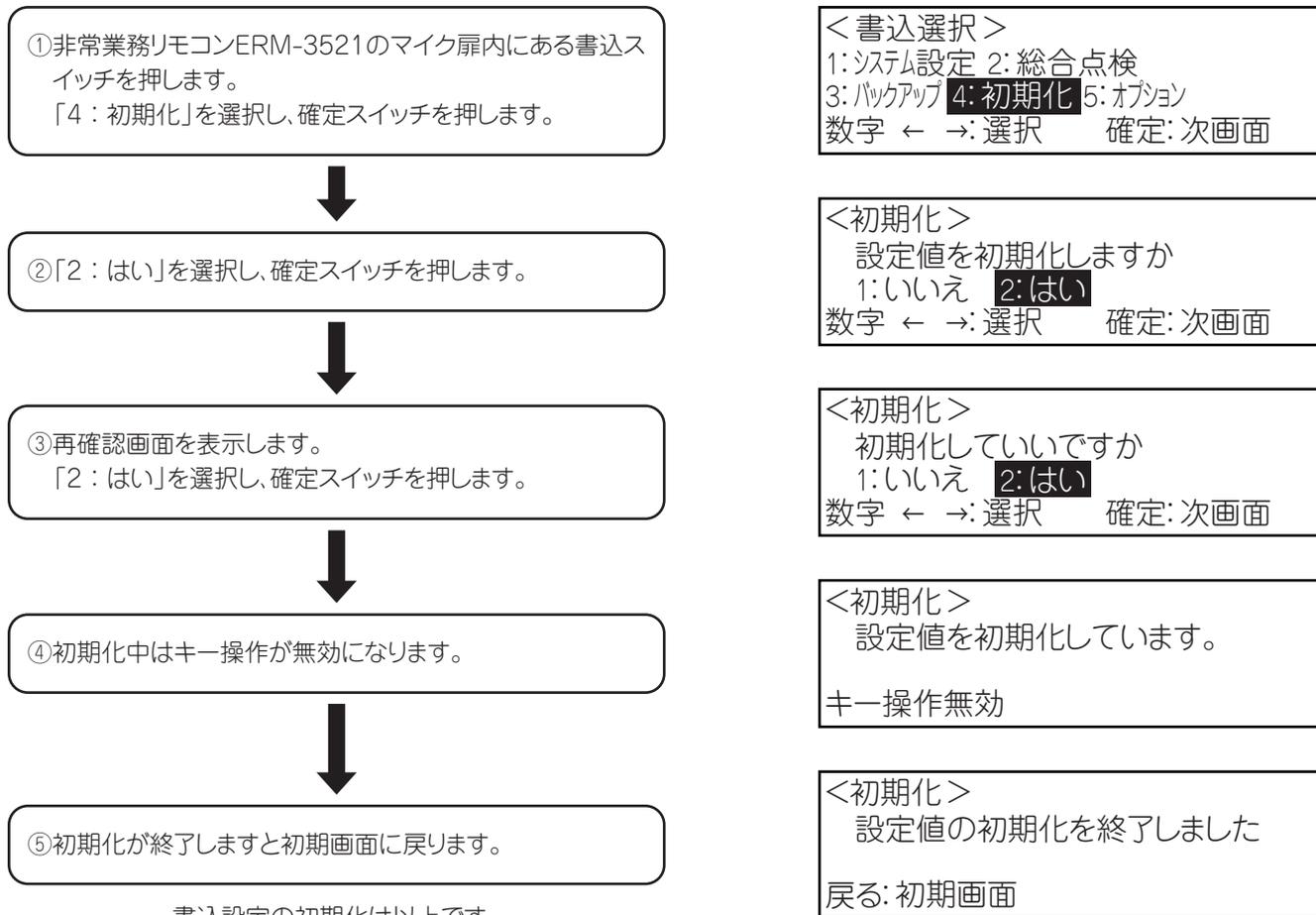
- ・ 放送中(外部制御入力および操作中等)は、書込スイッチを押しても書込設定は起動しません。放送終了後、書込スイッチを押してください。



■書込設定の初期化および更新

(1)書込設定の初期化

- ・本非常業務リモコンは、出荷時には「初期設定」(設定内容は「初期設定及び設定変更」をご参照ください)されています。
- ・書込内容を初期設定内容に戻したい場合は、次の手順でおこなってください。



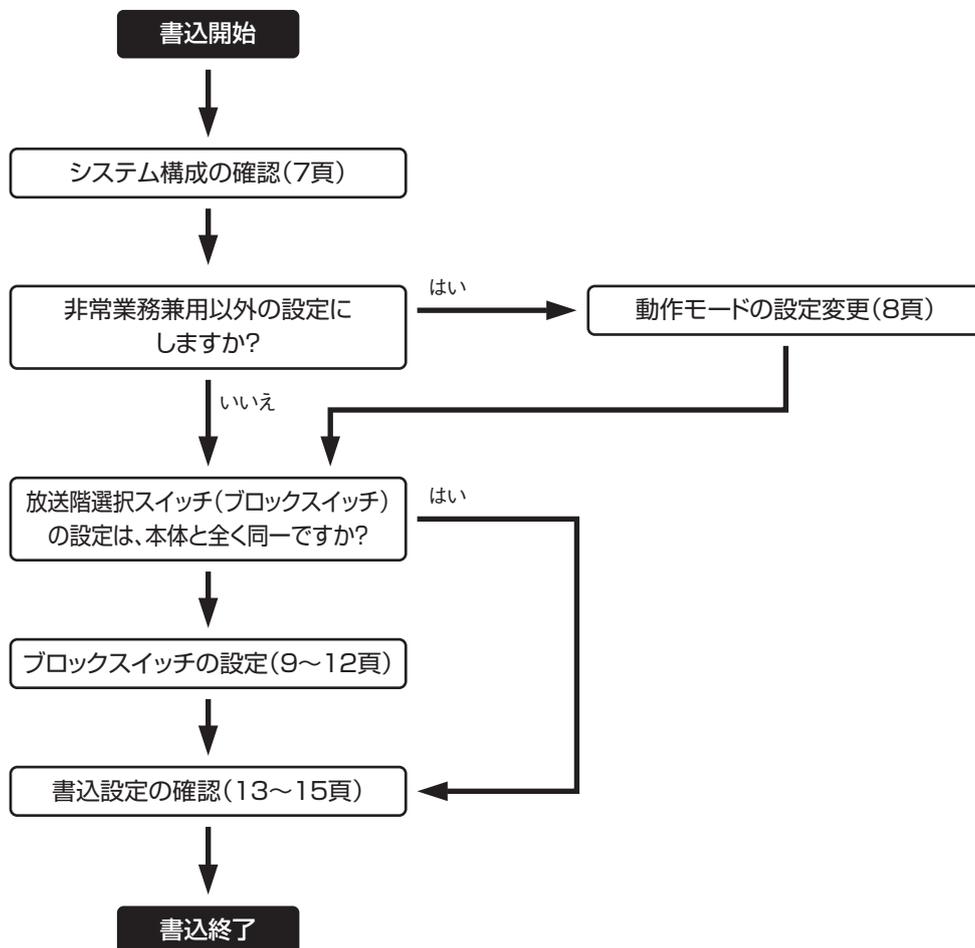
(2)書込設定の更新

- ・書込設定の内容は、後から設定した内容が上書きされます。(設定内容の追加にはなりません)

書込設定のしかた

■書込設定の主要手順

- 次の手順で書込設定、確認をおこなってください。
- 本リモコンの書込設定の前に、必ずラック本体の書込設定をおこなってください。



■システム設定

(1)システム構成確認

①非常業務リモコンERM-3521のマイク扉内にある書込スイッチを押します。
「1：システム設定」を選択し、確定スイッチを押します。



②「1：構成」を選択し、確定スイッチを押します。



③「1：システムのチェック」を選択し、確定スイッチを押します。



④システム構成の調査を開始します。



⑤システム構成を表示します。
増設スイッチユニットの構成台数が正しいことを確認し、確定スイッチを押します。
※右の画面の場合、1,3番のユニットがあり、2番のユニット番号がない状態です。



⑥システム構成に問題が無ければ、「1：する」を選択し、確定スイッチを押します。

システムに問題がある場合は、「システムの設定に問題があります。接続を確認してください」と表示されます。接続を確認し、問題のある箇所を修正しましたら、再度、システム構成の確認をおこなってください。

システム構成の確認は以上です。

<書込選択>
1:システム設定 2:総合点検
3:バックアップ 4:初期化 5:オプション
数字 ← →:選択 確定:次画面

<システム設定>
1:構成 2:システム 3:確認
数字 ← →:選択 確定:次画面

<システム構成>
1:システムのチェック 2:構成表示
数字 ← →:選択 確定:次画面

<システムチェック>
システムの構成を調査中です。
戻る:調査停止

<システム構成>
増設スイッチユニット 2台
抜け番号 2
確定:次画面

<システム構成>
システムの構成を保存しますか?
1:する 2:しない
数字 ← →:選択 確定:確定

<システム構成>
システムの設定に問題があります。
接続を確認してください。
戻る:初期画面へ

書込設定のしかた

(2)動作モード設定

- 本リモコンは非常業務専用リモコンです。
- 動作モードを、非常専用(非常放送時のみ操作可能)、業務専用(業務放送時のみ操作可能)、非常業務兼用(非常放送、業務放送どちらでも操作可能)の中で選択ができます。

①書込選択画面で、「1：システム設定」を選択し、確定スイッチを押します。



②「2：システム」を選択し、確定スイッチを押します。



③「1：動作モード」を選択し、確定スイッチを押します。



④動作モードを選択して、確定スイッチを押します。
※初期設定は、非常業務です。

動作モードの設定は以上です。

<書込選択>

1:システム設定 2:総合点検
3:バックアップ 4:初期化 5:オプション
数字 ← →:選択 確定:次画面

<システム設定>

1:構成 2:システム 3:確認
数字 ← →:選択 確定:次画面

<システム>

1:動作モード 2:ワーク・SP選択
3:LCD濃淡
数字 ← →:選択 確定:次画面

<システム> 動作モード

1:非常業務 2:非常 3:業務
数字 ← →:選択 確定:確定

■ブロックスイッチ設定

(1)ブロックスイッチの動作モードの設定

- ・ブロックスイッチの設定は、放送階選択スイッチ5局単位となります。
- ・ブロックスイッチの設定モードは、業務専用、非常専用、非常・業務兼用の3通りの設定ができます。

①マイク扉内の書込スイッチを押します。
「1：システム設定」を選択し、確定スイッチを押します。

<書込選択>

1:システム設定 2:総合点検
3:バックアップ 4:初期化 5:オプション
数字 ← →:選択 確定:次画面

②「2：システム」を選択し、確定スイッチを押します。

<システム設定>

1:構成 2:システム 3:確認
数字 ← →:選択 確定:次画面

③「2：ブロック・SP選択」を選択し、確定スイッチを押します。

<システム>

1:動作モード 2:ブロック・SP選択
3:LCD濃淡
数字 ← →:選択 確定:次画面

④「2：本体と異なる」を選択し、確定スイッチを押します。
本体と同じ場合は、「1：本体と同じ」を選択し、確定スイッチを押して、ブロックスイッチの設定を終了します。

<システム> ブロック・SPモード選択

1:本体と同じ 2:本体と異なる
数字 ← →:選択 確定:次画面

⑤「1：ブロック」を選択し、確定スイッチを押します。

<システム>

1:ブロック 2:SP回線
数字 ← →:選択 確定:次画面

⑥「1：機能設定」を選択し、確定スイッチを押します。

<システム> ブロック

1:機能設定 2:放送先設定
数字 ← →:選択 確定:次画面

⑦ブロックスイッチの動作モードを選択して、確定スイッチを押します。※ここでは「1：業務専用」を選択します。

<システム> ブロック

1:業務専用 2:非常専用
3:非常・業務兼用
数字 ← →:選択 確定:次画面

⑧ブロックスイッチとして設定する放送階選択スイッチをすべて押します。
選択された放送階選択スイッチの作動表示灯が点灯します。
すべて押したら、確定スイッチを押します。

<システム> ブロック

業務専用ブロックの選択
対応する放送階選択スイッチを押す。
確定:確定

ブロックスイッチの動作モードの設定は以上です。

書込設定のしかた

(2) ブロックスイッチの放送先の設定

- ブロックスイッチの放送先(スピーカー回線)を設定します。
- 非常専用および非常業務兼用のブロックスイッチは、放送先(スピーカー回線)を非常用放送の階別マトリクスと同様の設定としてください。
- 業務専用ブロックスイッチは、放送先を任意に設定できます。

①ブロック選択画面で「2：放送先設定」を選択し、確定スイッチを押します。

<システム> ブック
1:機能設定 2:放送先設定
数字 ← →:選択 確定:次画面

②ブロック番号を設定し、確定スイッチを押します。

<システム> ブック放送先
ブック番号 001
数字 ↑ ↓:入力 確定:次画面

③指定したブロックスイッチに対応させる放送階選択スイッチを押します。
選択された放送階選択スイッチの作動表示灯が点灯します。
確定スイッチを押します。

<システム> ブック放送先
ブック番号 001
対応する放送階選択スイッチを押す。
確定:確定

④ブロックスイッチに連動したタリー出力を設定することができます。
タリー番号を設定し、確定スイッチを押します。
タリー出力を設定しない場合は、00のまま確定スイッチを押します。

<システム> ブック放送先
ブック番号 001
タリー番号 00
数字 ↑ ↓:入力 確定:確定

⑤②～④を繰り返して、他のブロックスイッチを設定してください。
放送先の設定がすべて終了したら、戻るスイッチを押します。

<システム> ブック放送先
ブック番号 002
数字 ↑ ↓:入力 確定:次画面

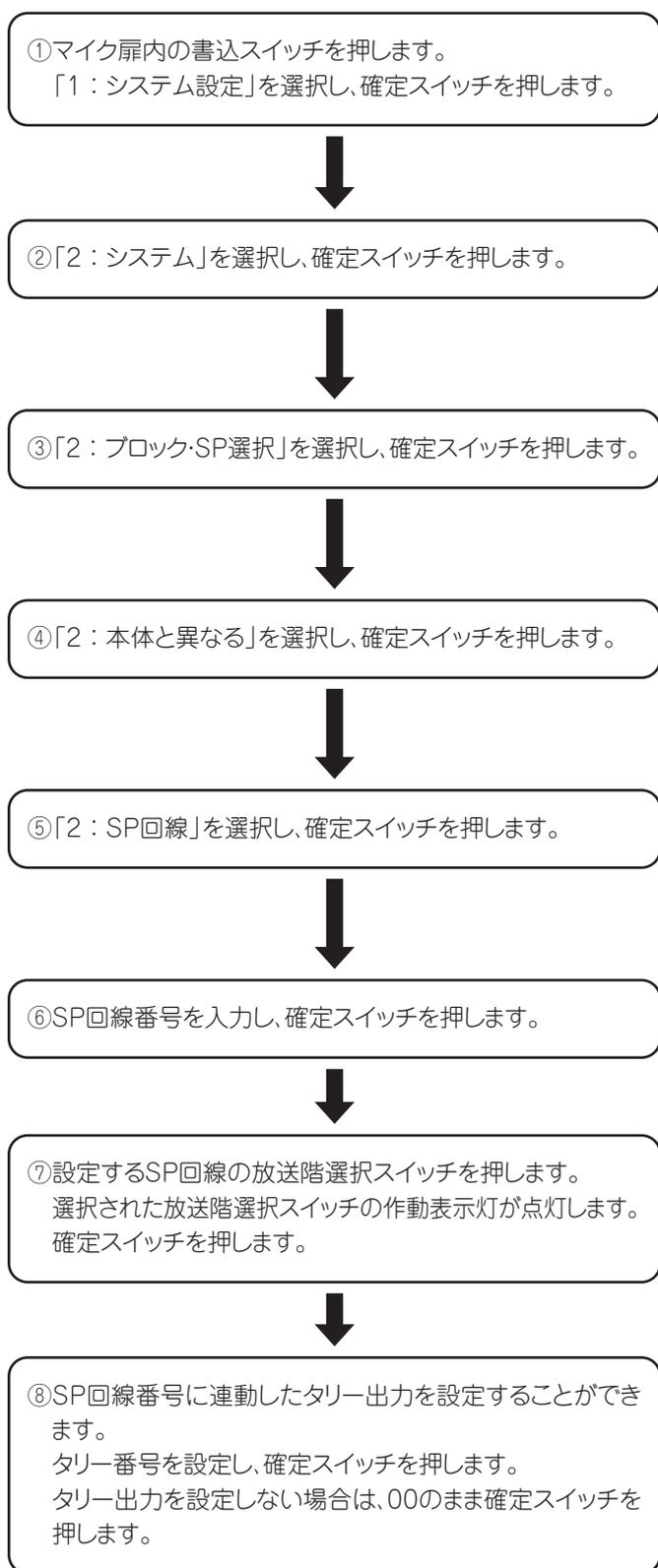
ブロックスイッチの放送先の設定は以上です。

(3) 放送階選択スイッチとスピーカー回線の設定変更

- 本リモコンで、本体とは別に「ブロックスイッチの設定」(スイッチの位置、放送先)ができます。
- その場合は、設定後に必ず以下の放送階選択スイッチの設定変更を行ってください。

ご注意

・この放送階選択スイッチの設定変更をしないと、対応する本体の放送階選択スイッチと連動して、非常放送時に出火階表示灯が誤って点灯する等の誤動作となります。



<書込選択>
1:システム設定 2:総合点検
3:バックアップ 4:初期化 5:オプション
数字 ← →:選択 確定:次画面

<システム設定>
1:構成 2:システム 3:確認
数字 ← →:選択 確定:次画面

<システム>
1:動作モード 2:ブロック・SP選択
3:LCD濃淡
数字 ← →:選択 確定:次画面

<システム> ブロック・SPモード選択
1:本体と同じ 2:本体と異なる
数字 ← →:選択 確定:次画面

<システム>
1:ブロック 2:SP回線
数字 ← →:選択 確定:次画面

<システム> SP回線
SP回線番号 001
数字 ↑ ↓:入力 確定:次画面

<システム> SP回線
SP回線番号 001
対応する放送階選択スイッチを押す。
確定:次画面

<システム> SP回線
SP回線番号 001
タリー番号 00
数字 ↑ ↓:入力 確定:確定

書込設定のしかた



⑨⑥～⑧を繰り返して、他のSP回線番号を設定してください。
放送先の設定がすべて終了したら、戻るスイッチを押します。

放送階選択スイッチとスピーカー回線の設定変更は以上です。

<システム> SP回線

SP回線番号 **002**

数字 ↑ ↓:入力 確定:次画面

■LCD画面の濃淡の設定

●LCD画面の文字が見えにくい場合に、以下の手順で濃淡の調整をおこなってください。

①マイク扉内の書込スイッチを押します。
「1:システム設定」を選択し、確定スイッチを押します。



②「2:システム」を選択し、確定スイッチを押します。



③「3:LCD濃淡」を選択し、確定スイッチを押します。



④↑↓キーを操作して、濃淡を調節し、確定スイッチを押します。

LCD画面の濃淡の設定は以上です。

<書込選択>

1:システム設定 2:総合点検
3:バックアップ 4:初期化 5:オプション

数字 ← →:選択 確定:次画面

<システム設定>

1:構成 2:システム 3:確認

数字 ← →:選択 確定:次画面

<システム>

1:動作モード 2:ブック・SP選択
3:LCD濃淡

数字 ← →:選択 確定:次画面

<システム> LCD濃淡

文字を濃くするには ↑ を押す。
文字を薄くするには ↓ を押す。

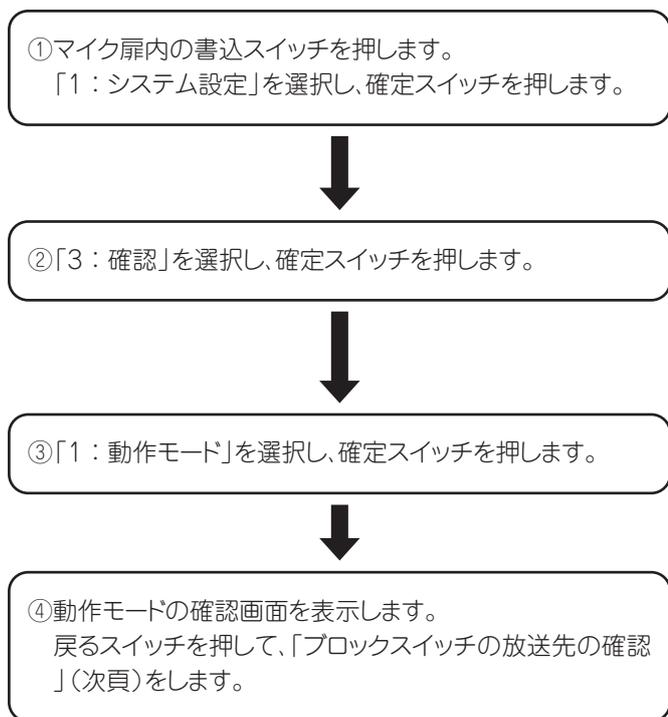
確定:確定

書込設定の確認のしかた

●書込設定した内容を確認することができます。確認できる項目は次のとおりです。

- ・ブロックスイッチの動作モード(13頁)
- ・ブロックスイッチの放送先(14頁)
- ・SP回線(15頁)

■ブロックスイッチの動作モードの確認



ブロックスイッチの動作モードの確認は以上です。

<書込選択>
1:システム設定 2:総合点検
3:バックアップ 4:初期化 5:オプション
数字 ← →:選択 確定:次画面

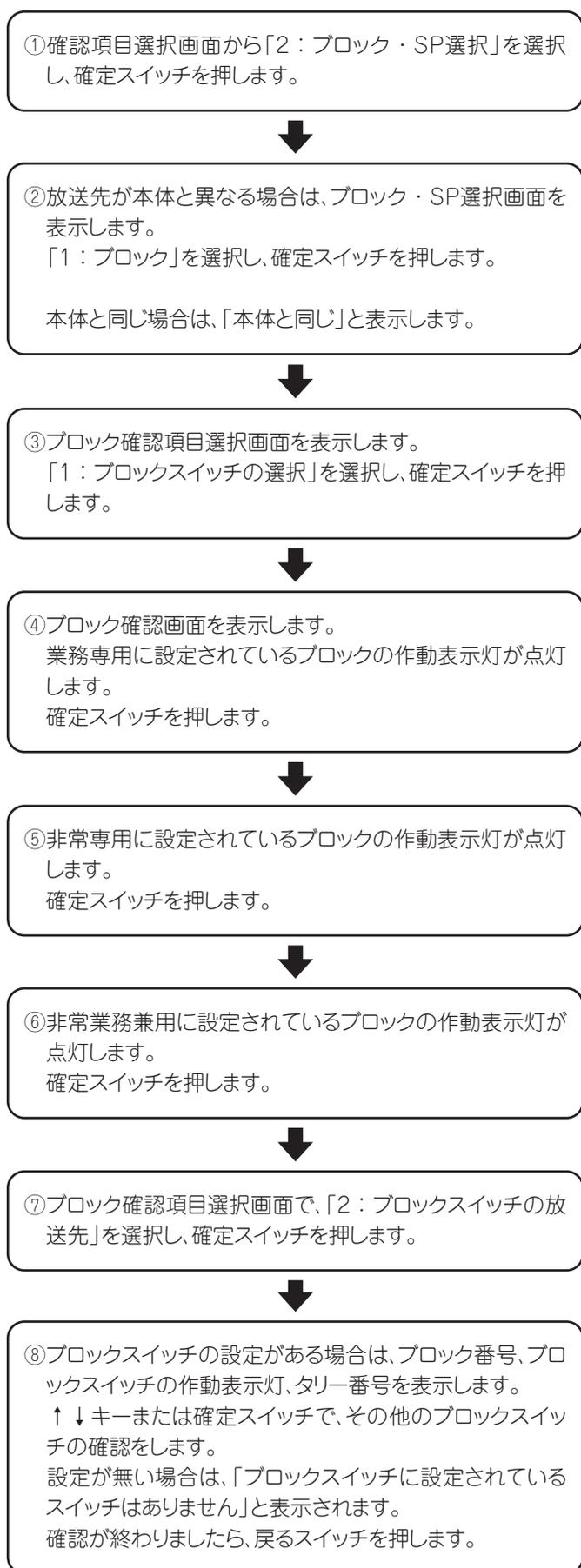
<システム設定>
1:構成 2:システム 3:確認
数字 ← →:選択 確定:次画面

<確認>
1:動作モード 2:ブロック・SP選択
数字 ← →:選択 確定:次画面

<確認> 動作モード
1:非常業務
確定:初期画面

書込設定の確認のしかた

■ブロックスイッチの放送先の確認



<確認>
1:動作モード 2:ブロック・SP選択
数字 ← →:選択 確定:次画面

<確認>
1:ブロック 2:SP回線
数字 ← →:選択 確定:次画面
(画面は本体と異なる場合)

<確認> ブロック
1:ブロックスイッチの選択
2:ブロックスイッチの放送先
数字 ← →:選択 確定:次画面

<確認> ブロック
業務専用設定されている
ブロック
確定:次画面

<確認> ブロック
非常専用設定されている
ブロック
確定:次画面

<確認> ブロック
非常・業務兼用に設定されている
ブロック
確定:初期画面

<確認> ブロック
1:ブロックスイッチの選択
2:ブロックスイッチの放送先
数字 ← →:選択 確定:次画面

<確認> ブロック
ブロック番号 001
外番号 01
↑:前 ↓:次 確定:次画面

ブロックスイッチの放送先の確認は以上です。

■SP回線の確認

①確認項目選択画面から「2：ブロック・SP選択」を選択し、確定スイッチを押します。



②ブロック・SP選択画面から、「2：SP回線」を選択し、確定スイッチを押します。



③SP回線確認画面を表示します。
SP回線の設定がある場合は、SP回線番号、作動表示灯、タリー番号を表示します。
↑↓キーまたは確定スイッチで、その他のSP回線の確認をします。
設定が無い場合は、「SP回線に設定されているスイッチはありません」と表示されます。
確認が終わりましたら、戻るスイッチを押します。

SP回線の確認は以上です。

```
<確認>
1:動作モード 2:ブロック・SP選択
数字 ← →:選択 確定:次画面
```

```
<確認>
1:ブロック 2:SP回線
数字 ← →:選択 確定:次画面
```

```
<確認> SP回線
      SP回線番号 001
      タリー番号 01
↑:前 ↓:次 確定:次画面
```

総合点検のしかた

①書込スイッチを押します。
「2：総合点検」を選択し、確定スイッチを押します。



②総合点検に緊急地震放送を含めるか選択します。
設定したら、確定スイッチを押します。



③総合点検の再確認表示をします。
・いいえの場合：「非常放送が出来ない事があります。」
・はいの場合：「緊急地震放送、非常放送が出来ない事
があります。」
確定スイッチを押しますと点検を開始します。



④点検を開始します。
点検中は、<総合点検中>と表示し、点滅反転します。
点検を終了する場合は、戻るスイッチを押します。

点検のしかたは以上です。

<書込選択>

1:システム設定 2:総合点検
3:バックアップ 4:初期化 5:オプション
数字 ← →:選択 確定:次画面

<総合点検>

総合点検に緊急地震放送を含めますか
1:いいえ 2:はい
数字 ← →:選択 確定:確定

<総合点検>

[注意] 非常放送が出来ない事
があります
戻る:点検終了 確定:点検開始

<総合点検中>

戻る:点検終了

バックアップのしかた

(1) 設定値の保存

・放送階や音声メッセージ等、現在設定されている内容を保存します。

①「3：バックアップ」を選択し、確定スイッチを押します。

②「1：設定値の保存」を選択し、確定スイッチを押します。

③設定内容を保存する場合は「2：はい」を選択し、確定スイッチを押します。

④設定内容の保存が終わりましたら、戻るスイッチを押します。＊バックアップ中はキー操作を受付けません。

設定値の保存は以上です。

<書込選択>

1:システム設定 2:総合点検
3:バックアップ 4:初期化 5:オプション
数字 ← →:選択 確定:次画面

<バックアップ>

1:設定値の保存 2:設定値の書換
3:保存内容の確認
数字 ← →:選択 確定:次画面

<バックアップ>

設定内容を保存しますか?
1:いいえ 2:はい
数字 ← →:選択 確定:次画面

<バックアップ>

設定内容を保存しました
戻る:初期画面へ

(2) 設定値の書換

・放送階や音声メッセージ等、保存されている設定内容に書き換えます。

①「2：設定値の書換」を選択し、確定スイッチを押します。

②設定内容に書換える場合は「2：はい」を選択し、確定スイッチを押します。

③設定内容の保存が終わりましたら、戻るスイッチを押します。＊書換え中はキー操作を受付けません。

設定値の書換は以上です。

<バックアップ>

1:設定値の保存 2:設定値の書換
3:保存内容の確認
数字 ← →:選択 確定:次画面

<バックアップ>

保存内容に書換えますか
1:いいえ 2:はい
数字 ← →:選択 確定:確定

<バックアップ>

設定値を保存内容に書換えました
戻る:初期画面へ

バックアップのしかた

(3) 保存内容の確認

① 動作モードの確認

①「3：保存内容の確認」を選択し、確定スイッチを押します。



②設定内容を読み出す場合は「2：はい」を選択し、確定スイッチを押します。



③設定内容の読み出しが完了しましたら、確定スイッチを押します。※読み出し中はキー操作を受け付けません。



④保存内容確認項目選択画面を表示します。
「1：動作モード」を選択し、確定スイッチを押します。



⑤動作モードの保存内容を表示します。
確認が完了しましたら、戻るスイッチを押します。

動作モードの確認は以上です。

<バックアップ>
1: 設定値の保存 2: 設定値の書換
3: 保存内容の確認
数字 ← →: 選択 確定: 次画面

<バックアップ>
設定内容を読み出しますか
1: いいえ 2: はい
数字 ← →: 選択 確定: 次画面

<バックアップ>
保存内容を読み出しました
確定: 次画面

<バックアップ>
1: 動作モード 2: プロック・SP選択
数字 ← →: 選択 確定: 次画面

<バックアップ> 動作モード
1: 非常業務
確定: 初期画面

②ブロックスイッチの確認

①保存内容確認項目選択画面から「2：ブロック・SP選択」を選択し、確定スイッチを押します。

<バックアップ>
1:動作モード 2:ブロック・SP選択
数字 ← →:選択 確定:次画面

②保存内容が本体と異なる場合は、ブロック・SP選択画面を表示します。

「1：ブロック」を選択し、確定スイッチを押します。
本体と同じ場合は、「本体と同じ」と表示します。

<バックアップ>
1:ブロック 2:SP回線
数字 ← →:選択 確定:次画面
(画面は本体と異なる場合)

③ブロック確認項目選択画面を表示します。
「1：ブロックスイッチの選択」を選択し、確定スイッチを押します。

<バックアップ> ブロック
1:ブロックスイッチの選択
2:ブロックスイッチの放送先
数字 ← →:選択 確定:次画面

④ブロック確認画面を表示します。
確定スイッチを押す毎に業務専用、非常専用、非常・業務兼用毎に設定されている作動表示灯が点灯します。
確認が終わりましたら、確定スイッチを押します。

<バックアップ> ブロック
業務専用に設定されている
ブロック
確定:次画面

⑤ブロック確認項目選択画面で、「2：ブロックスイッチの放送先」を選択し、確定スイッチを押します。

<バックアップ> ブロック
1:ブロックスイッチの選択
2:ブロックスイッチの放送先
数字 ← →:選択 確定:次画面

⑥ブロックスイッチの設定がある場合は、ブロック番号、ブロックスイッチの作動表示灯、タリー番号を表示します。
↑ ↓キーまたは確定スイッチで、その他のブロックスイッチの確認をします。
設定が無い場合は、「ブロックスイッチに設定されているスイッチはありません」と表示されます。
確認が終わりましたら、戻るスイッチを押します。

<バックアップ> ブロック
ブロック番号 001
外番号 01
↑:前 ↓:次 確定:次画面

ブロックスイッチの確認は以上です。

バックアップのしかた

③SP回線の確認

①ブロック・SP選択画面から、「2：SP回線」を選択し、確定スイッチを押します。



②SP回線確認画面を表示します。
SP回線の設定がある場合は、SP回線番号、作動表示灯、タリー番号を表示します。
↑↓キーまたは確定スイッチで、その他のSP回線の確認をします。
設定が無い場合は、「SP回線に設定されているスイッチはありません」と表示されます。
確認が終わりましたら、戻るスイッチを押します。

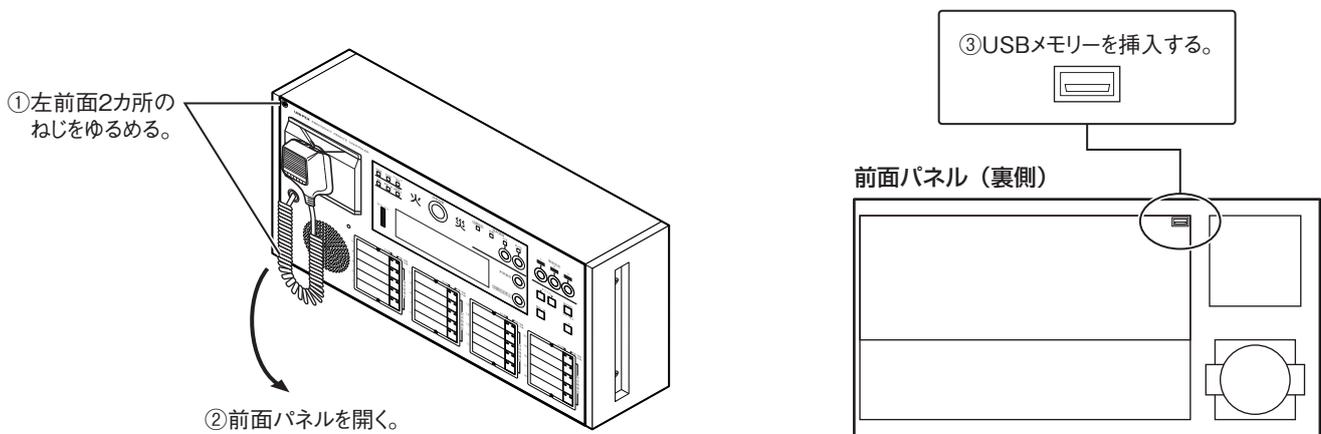
SP回線の確認は以上です。

```
<バックアップ>  
1:ブロック 2:SP回線  
数字 ← →:選択 確定:次画面
```

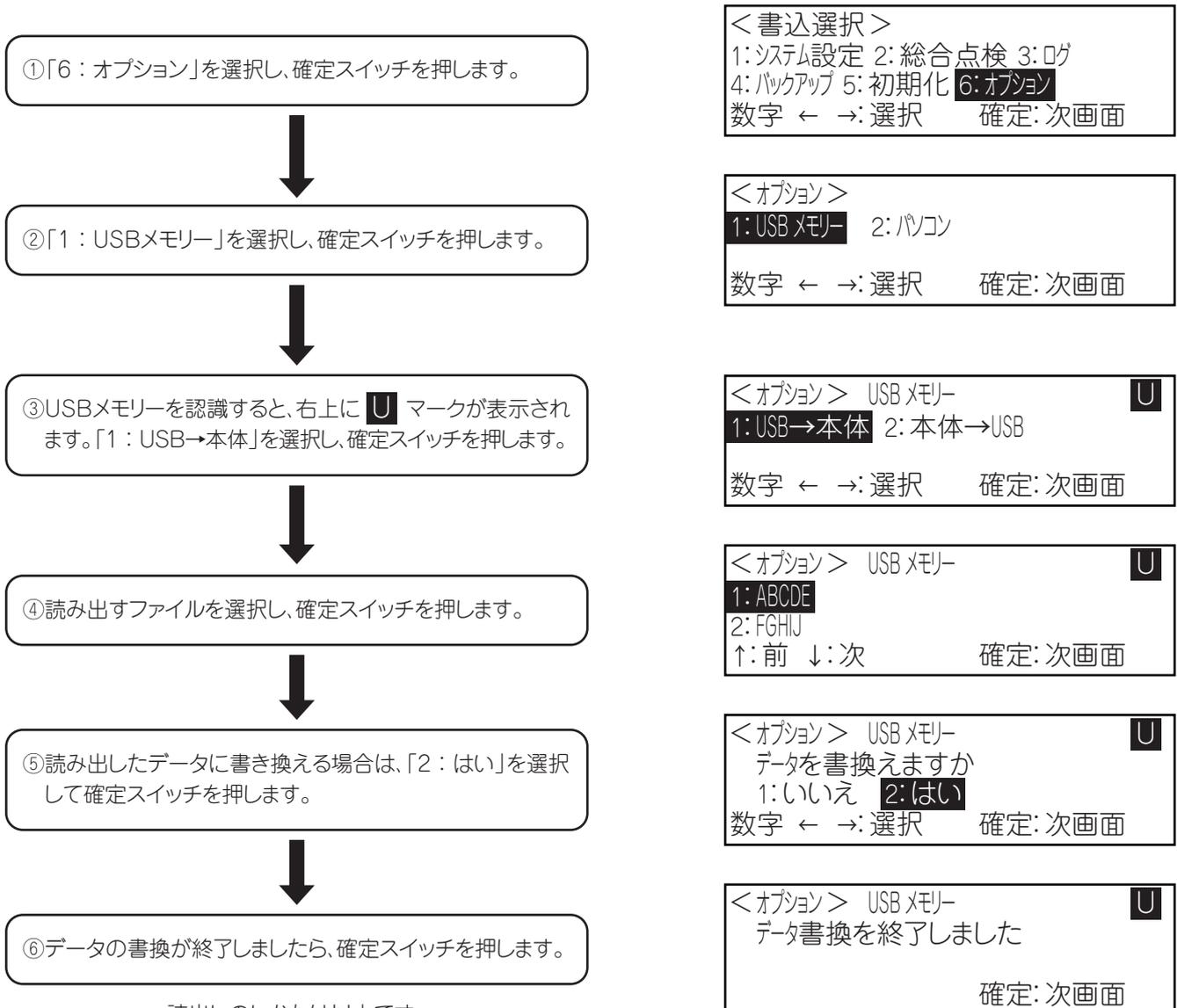
```
<バックアップ> SP回線  
SP回線番号 001  
タリー番号 01  
↑:前 ↓:次 確定:次画面
```

USBメモリの接続のしかた

- 書き込み設定の内容をUSBメモリーに保存することができます。
またUSBメモリーに保存された設定を書込むことができます。



(1) USBメモリー読出し(設定内容のデータを、USBメモリーから本体に読み込む場合)



USBメモリーの接続のしかた

(2)USBメモリー書込み(設定内容のデータを、本体からUSBメモリーに書込む場合)

①「2：本体→USB」を選択し、確定スイッチを押します。

<オプション> USBメモリー **U**
1: USB→本体 2: **本体→USB**
数字 ← →: 選択 確定: 次画面

②書込むデータを選択し、確定スイッチを押します。
ファイル名は、以下のように書込まれます。
・既存データ : progdata.dat
・バックアップデータ : progback.dat

<オプション> USBメモリー **U**
書込みデータを選択
1: **既存データ** 2: バックアップデータ
数字 ← →: 選択 確定: 次画面

③データの書込みが終了しましたら、確定スイッチを押します。

<オプション> USBメモリー **U**
データ書き込みを終了しました
戻る: 継続 確定: 次画面

書込みのしかたは以上です。

(3)USBメモリーを抜く場合

①USBメモリーを抜くときは、戻るスイッチを押してください。
右上の **U** マークが消えたことを確認してから抜いてください。

<オプション> USBメモリー **U**
USBメモリーが挿入されています
USBメモリーを抜いて下さい
確定: 次画面へ

抜き方は以上です。

パソコンの接続について

- パソコンを接続して操作する場合は、支援ソフトが必要です。支援ソフトおよび操作方法については、最寄りの営業所にお問い合わせください。

サポートのご案内

■ 修理・お取扱い・お手入れについてのご相談・ご依頼は、お買い上げの販売店にお申し付けください。

販売店に修理を依頼する場合は、下記の項目をお確かめください。

①品名 ②品番 ③お買い上げ日 ④故障の状況（できるだけ具体的にお願いします）

■ 販売店がご不明な場合は、最寄りの弊社営業所にお問い合わせください。

営業所情報はホームページ
もしくは2次元コードにアクセス
してください。
<http://www.unipex.co.jp>



■ その他ご不明な点は、お客様ご相談センターへご相談ください。

UNI-PEX 0120-56-5245 (通話料無料)

お客様ご相談センター

受付時間／9:00～17:00（土・日・祝日除く）

携帯電話からのご利用は、

072-855-3334（通話料がかかります）

【お客様の個人情報のお取り扱いについて】

お客様ご相談センターにおけるお客様の個人情報は、ご相談対応、修理およびその確認に使用いたします。個人情報は適切に管理し、正当な理由がある場合を除き、第三者に提供または開示いたしません。